

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	株式会社サザンツリー	事業所名	グループホームサザンツリー
所在地	姫路市飾西330番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念を、朝礼で毎朝唱和、スタッフ会議・運営推進会議で情報共有、HPに掲載し、折にふれ再確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、入居者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の散歩時、近隣住民へのご挨拶や軽いおしゃべり、定期的な地域の美容院の利用などで交流をしている。	推進会議メンバーである地域民生委員の方は、入居者の外出時の様子・変化を長年にわたり見守ってくださっている。		
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症や認知症の方への理解が深まるよう、毎回、参加者に役立てていただける内容を取り上げている。	入居者の要介護度・平均年齢等の状況を報告し、変化する認知症ケアについて情報共有している。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	包括センターの方、地域民生委員の方とは、日ごろから会話の機会を設け、話しやすい関係を構築している。	新しく加入した民生委員の方の身近な困りごとを聞き、情報共有をすることで不安を和らげることができている。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	スタッフ会議において、身体拘束3原則、スピーチロック、ドラッグロックなど、介護で起きやすい事例を取り上げて、拘束のないケアに取り組んでいる。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	要介護度が低く、動き回る入居者が多いので、見守りが大変だと思う。少しの拘束があったとしても理解できる。ヒヤリハットの内訳を家族に公表することを検討されたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、入居者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	身体拘束のないケアと共通する部分が多いため、スタッフ会議で、定期的に研修を実施し徹底した虐待防止につとめている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	推進会議で基本理念に沿ったいいないなケアにつとめておられる。なかなか改善されない職員に悩まされているようだが、努力されていると思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	制度を利用する方がおられたので、事業所として可能な限りの支援を行った。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、入居者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	入居契約書、重要事項説明書に記載されている事項を1時間近くかけて、丁寧に説明し、不明な点はその場で確認している。			
9	運営に関する入居者、家族等意見の反映	入居者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	入居者や家族の意見で対応が必要と思われる事例には、迅速に具体的な方法を実施するようつとめている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	それぞれ異なる考えの入居者家族への対応に苦勞されることがあるようだが、誠実に対応しているように思う。

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時個別に、月1回のスタッフ会議で出た意見を吸い上げ、必要な案件には早めに対応している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員には、年に1回の業績振り返りと自己評価を提出させるとともに、代表者は日々職員にこまめに声かけをして、困りごとがないか聞き取りをしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回の振り返りでは、新たに従業員のストレスチェックの項目を追加しておられ、環境整備には取り組んでいると思う。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤続年数、経験年数、適正、目標などに応じ、無理なく個人のペースで落ち着いて働けるよう個別の配慮などを行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の新聞に掲載している従業員のプロフィールを見ると、勤続年数が長い人がとても多い。よくフォローをされているからだと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で、外部との接触がないことに慣れてしまっている。今後の改善項目としたい。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日一人ひとりの入居者の表情や体の動きの変化に気を配り、できるかぎり多く個別のコミュニケーションをとるようにしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後も家族や友人との関係が継続できるよう、面会・電話・オンライン面会などの機会を設けている。	コロナ禍での面会制限などには、強く不満を持たれている方もいて、事業所としての責任と家族のニーズの狭間で悩むことが多いと伝えた。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の何気ない言葉や訴えに耳を傾け、できることに目を向けて前向きに生活できるようつとめている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族との面談時に最近のご様子をお伝えし、モニタリング表をもとに、担当職員らが意見を出し合っ、ケアプランを作成している。	モニタリング表をよりよく改善し、毎日の観察とこまめなカンファレンスの結果をもとに介護計画を作成していることを伝えている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護職員の方はよくカンファレンスをして、介護計画に活かされていると思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録には、家族が読んだときにたやすく情景が浮かぶように、記載することにつとめ、長くなりすぎないように指導している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サザンツリーのケース記録は、書く人によって詳し過ぎると思うことがあるが、事務的な記載よりいいと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われな、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の性格やニーズを把握し、また変化していくニーズにすぐに対応してケアの方法を修正・変更している。	一般の人にはまだ顕在化していないような認知症ケアの課題をいち早く取り入れて、議題にしている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の重度化もあり、地域のイベントに出かける機会がなくなっている。可能な方は毎日のように散歩に出かけて近隣の方に見守っていただいている。	地域での毎日の生活の様子を伝えており、民生委員として出席の方も入居者の様子を見守ってくださっている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から利用している医療機関や訪問診療の継続ができる。往診入居者は職員が立ち会い、適切な治療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	入居者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各医療機関の医師や看護師と密に連絡を取り、入居者が適切な治療を受けられるよう情報提供書の作成等さまざまな支援を行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に、事業所と医療機関が連携し、情報提供を密に行っていることを聞いている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	推進会議のテーマに「看取り」を取り上げ、グループホームでの看取りの是非や、出席者の看取りに対する要望・イメージを聞き取るなどしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「事業所で看取りをしてくれるのはいいことだ」と言うのは簡単だが、終末期のお世話は簡単ではないとわかるので難しい問題だ。
24	急変や事故発生時の備え	入居者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調急変時にどう行動するかマニュアルに従って、あわてずに救急車を呼び、家族に連絡するよう訓練している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害の種類に応じて、どのように対応すべきかマニュアルに従って行動できるよう訓練している。	災害時の避難方法や避難先について情報共有している。地域住民との合同訓練ができればいいという提案にまだ応えられていない。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、避難訓練を実施していることは報告を受けている。
----	------	---	--	--	---	--	-----------------------------

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大半の職員は実行できているが、勤続年数の浅い職員に、配慮のない声かけ・対応をする者がおり、改善させなければならない。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の職員の指導に苦勞されていると聞かすが、ぱっと見た感じは皆さんよくしておられると思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何度も、尊厳を大切に对应するよう研修しているが、自分の都合で動いてくれないことにいら立つ職員がまだいるので、メンタルコントロールができるよう、指導したい。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者とお弁当やおやつを一緒に作るなど、作ること、食べることの楽しさを提供している。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の手作りを継続されていることはいいことだと思う。東西ユニットで違う献立ということも知らなかった。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量を毎日記録しており、十分な摂取量が確保できない入居者には、個別の方法で栄養を摂取できるようつとめている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアが苦手な入居者には、側で確実に口腔ケアを行うよう見守り、必要な方には訪問歯科の治療を勧めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアが何なのかがわからなくなる人がいるということで、大変だと思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄に失敗しがちな方のパターンを見極め、早めにトイレ誘導を行っている。排泄ケアのやり方には、職員間で時間をかけて相談して決めている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ポリマーをトイレに詰まらせたり、トイレトペーパーを居室に大量に取り込むなどの行為がよくあるということで大変だと思う。感謝の気持ちでいっぱい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴中には、無言で対応せずにお声がけをしながら、楽しみながら入浴を楽しめるように工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	眠れなくて不安になる方がおられるので、気分が落ち着かれるように、眠たくなるまでおしゃべりにつき合うなど、している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多種類の薬を服用している入居者も多いため、2名の職員が服薬管理表に沿って、最後まで服用したか確認することになっている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ポリファーマシーの問題を意識していて、不要な精神薬などはなるべく使わないよう支援しておられる。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できないことではなく、できること、楽しめるレクを見極めた上で、それらを継続できるよう、支援をしている。	何でも手伝ってしまうのではなく、できることはやってみようという対応を、皆さまに共有していただくようお願いしている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出が可能な方の、歩行距離、ペースに応じて、毎日散歩にお連れしている。近くに買い物やお花見、紅葉狩り、ピクニックにも出かけている。	半径数百メートル程度であっても、なるべく戸外に出て空気を吸って季節感を味わっていただくケアをしていることをお伝えしている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物に出かける機会は非常に少ないが、日用品を購入したい方には、近所のドラッグストアに職員が付き添って行う。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族からの手紙、電話、オンライン面会など、可能なコミュニケーションがとれるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、入居者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室は、お好きな写真や絵、家具などを設置していただいている。皆が過ごすリビングには、季節感のあるディスプレイを飾り、季節の移り変わりを感じられるようにしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	建物の周りがきれいに掃除されている。玄関に花や季節感のある絵が飾ってある。	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(入居者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の生活で入居者が発するふとした言葉や会話の中で引き出されたことをケアに活かしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に収集したプロフィールや生活歴、利用していた施設の情報提供書をしっかりと読み込み、ケアに最大限活かすようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を基本として、職員が観察したことや本当に必要な支援は何かを見極めて、ケアを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出席の家族様:ホームの運営・ケアには満足している。ただ、母の健康面のことはいつも気にはなっている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に意欲があり、体調が続く限り、これまでの習慣をそのまま継続した生活を送っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が見ている落ち着いた、なじみのある持ち物を持ち込むことができる。携帯電話で好きなときに家族に連絡できる。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ふつうのお宅の部屋のように心地のよい空間にされている方がおられる。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、希望する外出、診察、美容院などに出かけることができている。	特別レクでの外出、必要な診察などで、外出の機会があることをお伝えしている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができること、できないことを見極め、変化したことを見逃さず、可能な役割を果たすことができている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しい会話の時間、笑顔になれるレクリエーションの時間、おいしい食事の時間を提供している。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ついでできないことにとらわれがちだが、できないことよりできることに目を向けることが大切だとわかった。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩では、近隣のなじみの方から声をかけもらい、野菜や花をいただくなどの交流がある。	入居者から積極的にかかわりを持つことは難しいが、近隣の方の見守りにより、交流できていることを伝えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活によるメリットと難しさがあるが、メリットが上回るよう、何気ない日常生活を穏やかに遅れるよう努めている。	会話や活動の少ない生活は、認知症の進行につながりやすいことを伝え、グループホームでのメリットをご理解いただけている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームは動き回る人が多く、介護スキルが高くないと務まらない。よくされていると思う。ヒヤリハットの件数を家族に報告してはどうかと提案した。